特色 3

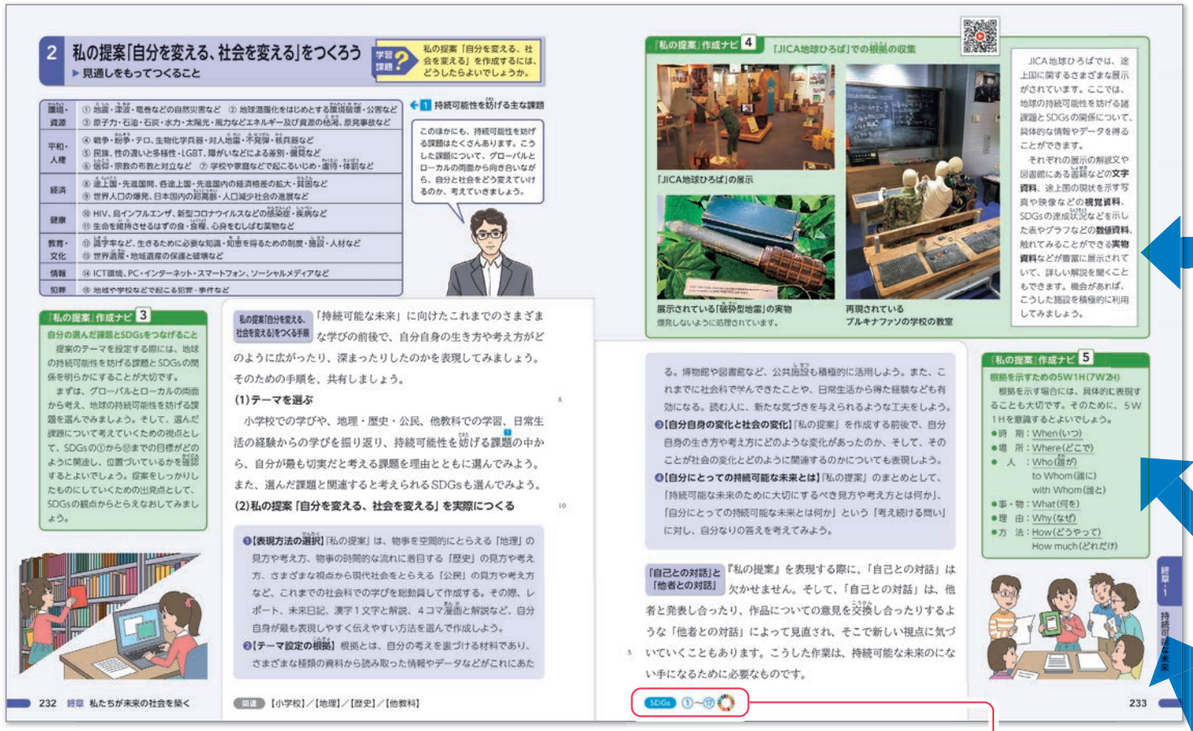
主権者として、ともに生きる力を育む教科書

1 社会的な課題を多面的・多角的に捉え、考察できる教材・内容

生徒が、現代や過去の社会的事象について、資料を的確に活用しながら多面的・多角的に考察することができ、情報を批判的に読み解いて公正に判断する力を養えます。

「私の提案」作成に向けて

終章（p.229より）では、これまでのすべての学習を活かし、**SDGs（持続可能な開発目標）**の視点をもって地球規模の課題と向き合い、解決方法を探ります。完成した「私の提案」を、他者との対話によって広げ深めていくことができます。「終章」に向けてすべてのページが有機的につながり、かかわり合いながら学習が進みます。



▲ p.232-233

▲ p.97

good

SDGs ⑯不平等 ⑯平和

▲ p.51

本時の各時間の学習内容と関連するSDGsの項目を紹介しています。

情報を公正に判断するための「Critical Thinking」

情報の矛盾点や不確実性を考えることで、事実や事象の本質をとらえるための「Critical Thinking」（クリティカル・シンキング）を、教科書を通じて身につけることができます。
また、具体的な「フェイクニュース」などの事例を通じて、メディアリテラシーの大切さを実感しながら学ぶことができます。

公民的分野とSDGs

新しい公民教科書では、**「『SDGs（持続可能な開発目標）』の17の目標の達成に向けて、いま私たちに何ができるか」**を大きな柱の一つに据え、構成しています。教科書の中で扱うさまざまな教材とSDGsとの関連が有機的に図られ、これまで以上により深く「持続可能な未来」を意識した学習を進めることが可能です。

◀ p.Ⅰ-Ⅱ

国際社会全体で取り組まれているSDGsを、公民学習全体に関わる大切な視点として、巻頭で紹介します。

◀ p.224-225

終章に入る前に、国際社会が抱える課題をもう一度振り返って整理し、培ってきた公民的分野の「見方・考え方」の視点で見つめ直します。

▲ p.82

各章の「学習のまとめと表現」では、自らの意見をSDGsと関連づけて考えることができます。
「公民」教科書では一貫して、**私たちが未来のためにできることは何か**、自分の言葉で考えていく活動を大切に位置づけています。